

第3次蟹江町 地域福祉計画・地域福祉活動計画

ともにいきる つながりのまち かにえ

令和8年度～令和13年度
(2026) (2031)



蟹江町

地域福祉計画がめざす姿

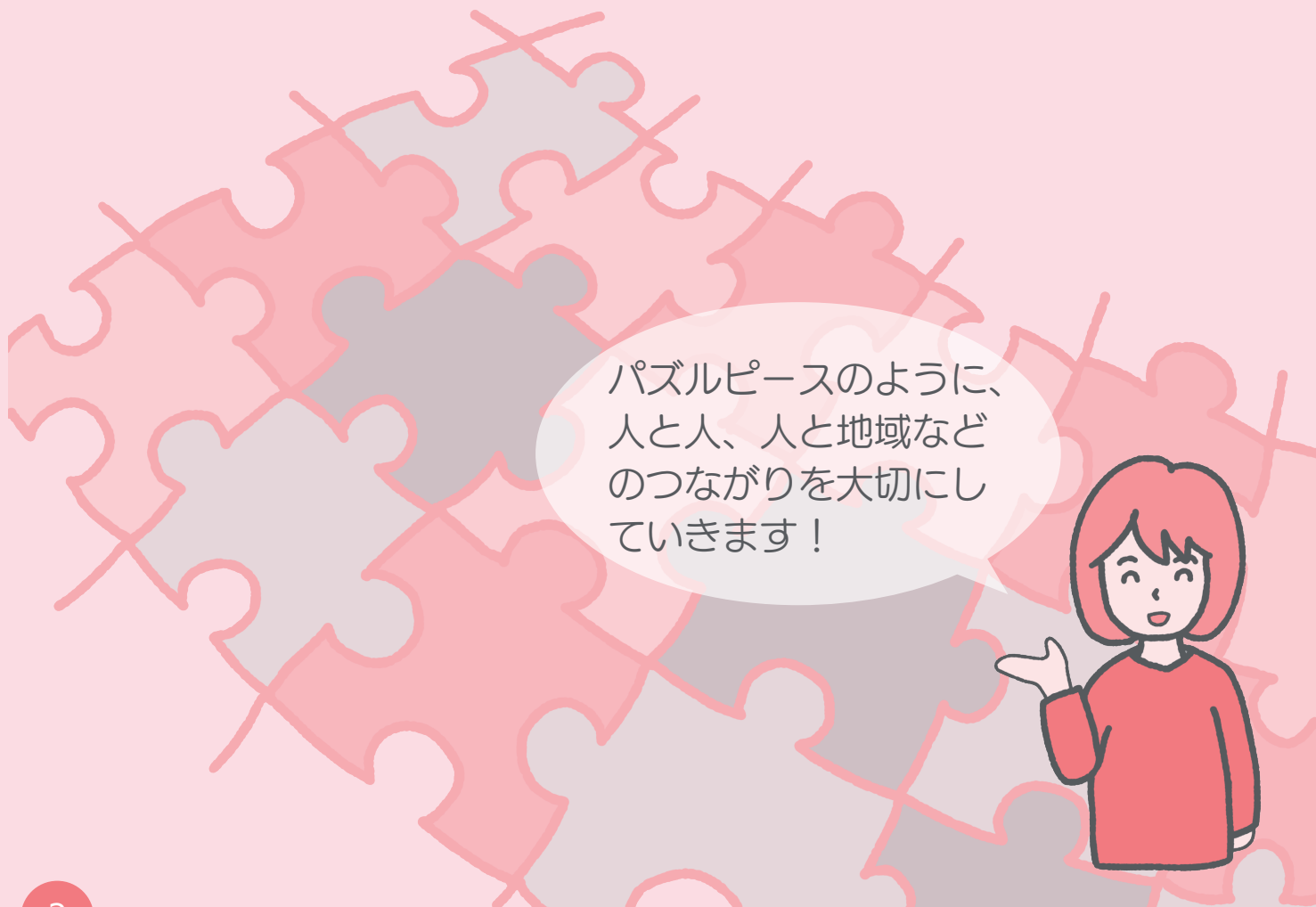
【基本理念】

ともにいきる つながりのまち かにえ

この計画では、地域で生活するすべての人が、安心して自分らしく生活できる地域を実現することをめざしています。

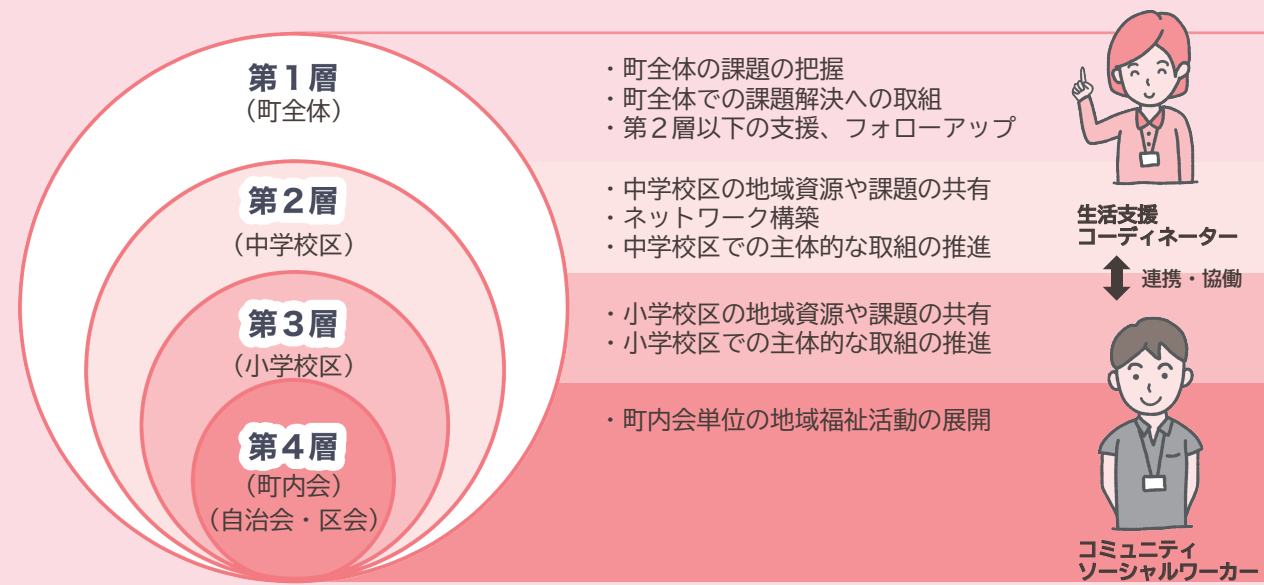
今日、地域では、社会的孤立の問題、外国人居住者の増加などに見られる多様性への対応、非正規雇用の増加や物価上昇などを背景とする貧困や生活困窮の問題など、日々、様々な問題が生じています。そのため、地域の人々が互いに協力し合い、様々な課題を解決していくしくみや人間関係づくりが必要です。

つながりづくりを大切に、だれ一人取り残すことのない地域づくりを進めていくことが、この計画がめざすところです。



地域とは

地域福祉を進めるために、地域を多層的に捉え、各層における推進体制や支援体制の構築をめざします。



地域福祉の課題

つながりが希薄化しています

近年、高齢者、障がい者、若者世代などの社会的孤立が問題となっています。だれも孤立することなく、つながりを実感し、安心して自分らしく暮らすことのできる地域をつくる必要があります。

情報が伝わっていない

生活に必要な情報が、十分に伝わっていない場合があります。必要な情報が届くように提供していく必要があります。

多様な人々が地域で生活しています

様々な人が地域で生活している中で、お互いのことを十分に理解できていないという背景から問題が生じる場合があります。お互いに理解を深め、配慮し合いながら、ともに暮らせる地域をつくる必要があります。

地域の課題を発見し支援につなぐことが必要です

課題を有する人を地域で見つけて、必要な支援につなげていくという地域福祉の取組を進めていく必要があります。



4つの基本目標と取組方針

1 地域福祉を進める意識を高め、地域のつながりをつくる

施策の方向

多世代交流の推進

わたしの取組

- あいさつや声かけをしよう
- 地域の行事やイベントに積極的に参加しよう

地域の取組

- 地域住民同士がお互いに関心を持ち、見守り合えるよう支援しよう

福祉教育の充実

- ボランティア活動などに積極的に参加しよう
- 福祉について積極的に学び、まわりと共有しよう

- ボランティア講座等への参加を呼びかけよう
- 地域のみんなで連携して地域福祉を進めよう

地域共生社会の実現に向けた理解の浸透

- 地域共生社会について積極的に学び、理解しよう
- 地域で困っている人を支援する活動に積極的に参加しよう

- 地域共生社会をみんなで考える機会をつくろう

顔の見える関係づくり

- 日頃から、あいさつをしよう
- 地域の取組や地域活動への参加に関心を持とう

- 地域ぐるみであいさつをしよう
- 転入者などへの説明の機会や地域への参加機会をつくろう

2 地域福祉を進めるしくみづくり

施策の方向

地域におけるコーディネート機能の強化

わたしの取組

- 困っている人に気づけるよう地域に目を向けよう
- 相談窓口や支援機関の情報を知っておこう

地域の取組

- 生活支援コーディネーターやコミュニティソーシャルワーカー等の専門職と協力しよう

誰でも利用できる相談の充実

- 相談窓口の情報を知り、まわりに伝えよう
- 困った時には積極的に相談窓口を利用しよう

- 相談窓口の情報を周知しよう
- 困っている人には相談窓口の情報を伝え、相談の利用を勧めよう

つながりづくりへの支援の充実

- 社会とのつながりを持続けることを心がけよう
- 社会参加を支援する事業の情報を知り、まわりにも伝えよう

- 多様な参加機会をつくり、新たな参加者を受け入れよう
- 孤立している人がいたら、支援機関につなげよう

3 地域福祉の担い手を育てる

施策の方向

意見交換の機会づくり

わたしの取組

- 意見交換の機会には、積極的に参加しよう
- 自分に関わる問題として地域福祉を考えよう

地域の取組

- 意見交換の機会を生かそう
- 地域が主体となって住民の意見を聞く取組を進めよう

ボランティアセンターの充実

- ボランティアセンターに登録しよう
- ボランティアグループとの接点を持とう

- ボランティアセンターを活用してネットワークを広げよう

担い手の育成

- ボランティア活動に関心を持とう
- ボランティア活動に参加しよう

- 多様な形でボランティア活動に参加できる機会をつくろう
- ボランティアグループと連携しよう

地域福祉活動への支援

- 地域のサロン等に参加し、交流しよう
- 民生委員・児童委員についての理解を深めよう

- サロン等の情報を伝え、参加者を拡大しよう
- 多様な活動組織と連携しよう

4 安心して生活できる地域の環境をつくる

施策の方向

権利を守る支援策の充実

わたしの取組

- 成年後見制度を知ろう
- 身近に必要な人がいる場合は相談窓口につなげよう

地域の取組

- 身近に成年後見などの利用が必要な人がいる場合は相談窓口につなげよう

情報発信

- 福祉に関する情報に関心を持ち、まわりの人にも伝えよう

- 地域の課題解決に役立つ情報を共有して活用しよう

防災・防犯活動の充実

- 防犯や防災対策について、日頃から情報交換をしよう
- 自分でできる備えや対策をしよう

- 地域で生活する災害時の要支援者を把握しておこう

生活困窮者への支援

- 課題を抱えている人は自分だけで抱え込まず身近な人や専門的な窓口相談しよう

- 地域で生活に困窮している人に気付いたら相談窓口につなげよう



関連計画の概要



この計画は、関連する3つの計画を内包して策定しています。

蟹江町重層的支援体制整備事業実施計画

今までの福祉制度は、高齢者、障がい者、こども・子育て、生活困窮者といった対象者の属性に応じて作られていましたが、実際には、例えば高齢の親と引きこもりの子どもによる「8050問題」などのように、複合的な課題であるケースが増えています。

こうした課題には、従来の制度では十分に対応できないため、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業を進める必要があります。

(1) 包括的相談支援事業

高齢、障がい、こども・子育て、生活困窮の各分野で実施している相談事業において、包括的に相談を受け止め、分野ごとの相談機関では解決が難しいケースは、適切な相談機関や支援機関と連携を図りながら支援を行うことにより、町民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応していきます。

(2) 参加支援事業

支援対象者の本人やその世帯の状況等を把握し、地域の社会資源とのマッチングを行います。また、既存の社会資源に働きかけたり、既存の社会資源の拡充等を図ることで、支援対象者のニーズに合った支援メニューを考えていきます。マッチングした後も、支援対象者のニーズが満たされているかフォローアップしていきます。

(3) 地域づくり事業

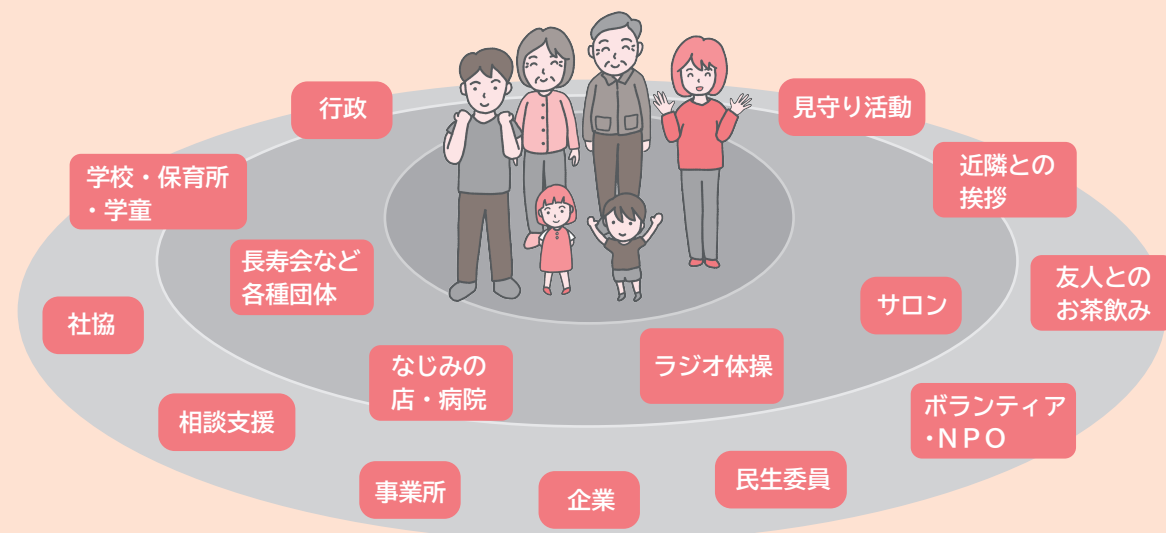
高齢、障がい、こども・子育て、生活困窮の各分野で行われている既存の事業を活用し、世代や属性に関わらず交流できる場や居場所を整備します。また、「人と人」、「人と社会資源」をつなぎ、地域のプラットフォームの形成や地域の活動の活性化を図ります。

(4) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

引きこもり状態や地域や社会とのつながりが希薄など、自ら支援を求められない人、支援を拒否する人など、支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない人に支援を届けます。

(5) 多機関協働事業

複雑化・複合化した支援ニーズに対して、複数の支援機関が主体的に協力し支援します。



海部南部成年後見制度利用促進計画

認知症や知的障がい、その他の精神上的の障がいがあることにより、財産の管理や日常生活等に支障がある方を支えるため、成年後見制度の利用を促進する必要があります。

基本的な考え方

成年後見制度の利用を必要とする本人が、メリットを実感できる制度運用となるよう、体制を整備し、本人の地域社会への参加の実現を目指します。

基本理念

だれもが住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができ、すべての人に役割と居場所があるまちづくり

基本目標

- 1 権利擁護支援が行き届くための普及と理解促進
- 2 権利擁護に係る相談支援体制の充実
- 3 権利擁護を通じた地域づくりのための体制整備

蟹江町再犯防止推進計画

わが国では、刑法犯の検挙者の約半数が再犯者であり、その割合は上昇傾向にあります。こうした状況を踏まえ、犯罪をした人が孤立することなく円滑に地域社会に復帰できるよう支援する必要があります。

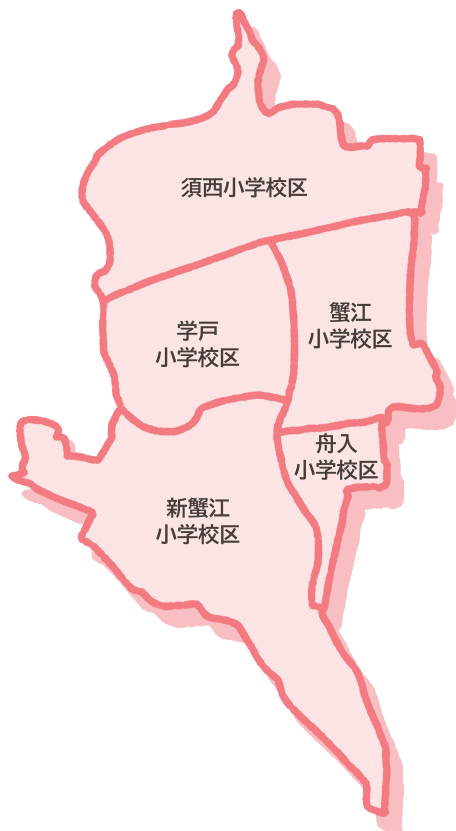
また、安全・安心な地域社会を実現するという視点から、再犯防止への取組を進めていく必要があります。

取組

- ① 就労・住居の確保への支援
- ② 保健医療・福祉サービスによる支援
- ③ 広報・啓発の充実
- ④ 保護司及び関係機関との連携の推進



学区別の状況



須西小学校区

人口 (6,718 人)
世帯数 (3,063 世帯)
年少人口比率 (12.9%)
高齢化率 (28.8%)
要介護等認定者数 (437 人)
外国人数 (232 人)

本町全体

人口 (36,784 人)
世帯数 (17,632 世帯)
年少人口比率 (11.2%)
高齢化率 (26.1%)
要介護等認定者数 (1,881 人)
外国人数 (2,229 人)

学戸小学校区

人口 (8,736 人)
世帯数 (4,021 世帯)
年少人口比率 (13.5%)
高齢化率 (21.9%)
要介護等認定者数 (353 人)
外国人数 (500 人)

蟹江小学校区

人口 (12,279 人)
世帯数 (6,039 世帯)
年少人口比率 (10.7%)
高齢化率 (22.9%)
要介護等認定者数 (520 人)
外国人数 (806 人)

新蟹江小学校区

人口 (7,395 人)
世帯数 (3,741 世帯)
年少人口比率 (8.3%)
高齢化率 (32.2%)
要介護等認定者数 (452 人)
外国人数 (600 人)

舟入小学校区

人口 (1,656 人)
世帯数 (768 世帯)
年少人口比率 (9.3%)
高齢化率 (34.3%)
要介護等認定者数 (119 人)
外国人数 (91 人)

令和 7 年 10 月 1 日現在 (資料：介護福祉課、住民課)

地域福祉懇談会での意見

蟹江小学校区

将来像

- ・つながるまち カニエ
- ・共生のまち支え合い！
- ～出来る人が出来ることを楽しく活動する～

取組

- ・住民が課題を話し合い、取組を行うプロジェクト
- ・あいさつ等によるつながりづくり
- ・スローショッピング

新蟹江小学校区

将来像

- ・人にやさしい街 かにえ！
- ・みんなに優しい街 かにえ

取組

- ・多世代が参加できるボッチャ大会「新カニエカップ」
- ・地域で毎日 あいさつ運動
- ・みんなが気軽に集まれる居場所づくり

舟入小学校区

将来像

- ・つながる地域づくり

取組

- ・区の 6 団体連携による多世代交流イベント

須西小学校区

将来像

- ・声をかけ合って、助け合える
- 住みやすい「蟹江町」

取組

- ・あいさつ運動
- ・こどもから高齢者まで参加しやすい集いの場
- ・地域内のイベントや活動を集約した「みんなのカレンダー」づくり

学戸小学校区

将来像

- ・地域のつながり 町内会に全員入るには
- ごみ問題

取組

- ・地域のルールや年間行事を説明する等、地域のつながりづくり

中学生の意見

将来像

- ・ゴミがない町カニエ

取組

- ・学校の授業として、学校周辺のゴミをひろう「ゴミを減らそう大作戦」を行う

第3次蟹江町

地域福祉計画・地域福祉活動計画

ともにいきる つながりのまち かにえ

令和 8 年度 (2026) ～ 令和 13 年度 (2031)

発行日 令和 8 年 3 月

蟹江町介護福祉課

〒497-8601

愛知県海部郡蟹江町学戸三丁目 1 番地

TEL: 0567(95)1111

社会福祉法人 蟹江町社会福祉協議会

〒497-0052

愛知県海部郡蟹江町大字西之森字海山 326 番地 3

TEL: 0567(96)2940